

資源の有効活用と廃棄物の削減

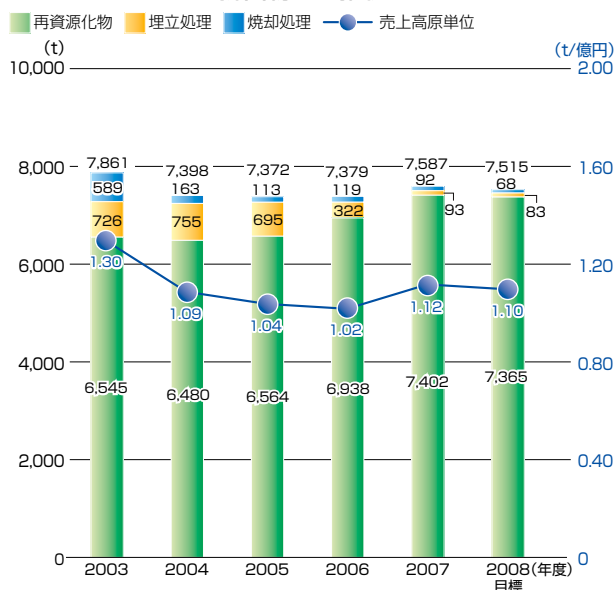
工場だけでなく、オフィスや社員食堂など、あらゆる現場で廃棄物の排出量削減を推進しています。

廃棄物削減活動の推進

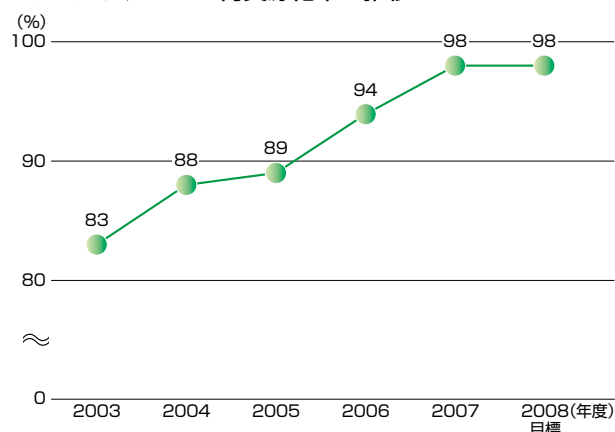
循環型社会の形成に寄与するため、廃棄物となるごみをゼロにする活動に取り組んでいます。2007年度は、グループ全体で「廃棄物量を売上高原単位2006年度比1%削減」、「再資源化率95%」を目標に活動しました。その結果、2007年度の再資源化率実績は98%となりました。またそのなかで、14事業所がごみゼロ(再資源化率99%以上)を達成しました。2010年度までに、グループ全体で再資源化率99%をめざします。

廃棄物削減については、売上高原単位で9%増となりました。2008年度は、引き続きグループ全体の廃棄物量1%削減(売上高原単位)をめざして活動を続けていきます。

シチズングループの排出物量の推移



シチズングループの再資源化率の推移



事例紹介

シチズン電子

廃プラスチックのリサイクル

シチズン電子がプラスチック部品を生産委託している中国現地企業の工場では、プラスチック成形品の成形工程で発生する端材や成形不良が、あわせて毎月7~10トンにも及んでいました。

従来は廃棄していましたが、プラスチックはリサイクル可能な素材であり、化石資源の消費を減らすという観点から見直しを進め、2007年度からリサイクル業者に売却して再生利用に役立てています。



分別された廃プラスチック

事例紹介

シチズンミヨタ

脱水汚泥をセメント材料に再資源化

シチズンミヨタでは、過去数年に渡って脱水汚泥をセメント材料に再利用するために、セメント会社と再資源化の検討を進めてきましたが、フッ素と塩素系物質の含有量が多かったことから実現していませんでした。

しかし、2007年度に受入会社側でそれらの含有率を下げる技術が開発されたこと、当社からの搬出方法をドラム缶からダンブへの直接積み込みに変更したことによりセメント材料に再利用することが可能になりました。これによって再資源化率は2006年の75.8%から93.7%と大幅に向上しました。

汚泥リサイクルフロー

